



第1回エコモビリティ勉強会「地域でつくる公共交通」

利用者不足による路線バスの撤退や地域の過疎化、さらには地域住民の高齢化などにより、過疎地域や中山間地域などにおいてはとくに移動手段の確保が重要となっています。

近年、住民が主体となり移動手段を確保する地域も増えてきつつありますが、行政が住民任せにして途中で運営が行き詰まる例や、住民の合意を十分に得ないまま運行を開始して、利用されない例も多々あります。

そこで本勉強会では、交通空白地域での交通づくりや、住民参加型交通の作り方を学び、今後の地域交通づくりの参考となる勉強会を開催します。

日 時：令和7年9月19日（金）

会 場：エコモ財団会議室及びオンライン

時 間：17:00～18:30

定 員：会場 15 名、オンライン 100 名

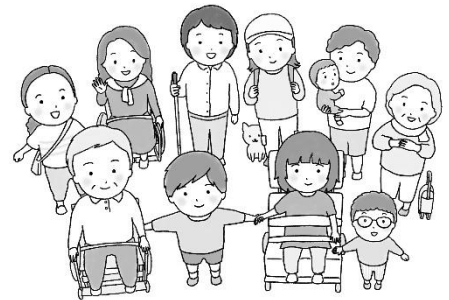
※それぞれ先着順

主 催：公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団

移動しやすく環境負荷の少ない交通ネットワーク（エコモビリティ）の検討 WG

情報保障：会場参加で手話通訳が必要な方は、9月5日（金）

までにお申込みください（オンライン参加の方は、Zoom ミーティングの文字起こし機能をご使用ください）



【プログラム】

17:00 開会

17:05 講 演 「地方都市における住民主体の地域交通のゆくえ」

福島大学経済経営学類准教授 村上早紀子氏

17:35 講 演 「ソーシャル・キャピタルと住民参加型交通まちづくり」

公益財団法人公害地域再生センター 谷内 久美子氏

18:05 意見交換 講師との意見交換を実施します。

※会場参加者が優先となる場合があります

18:30 閉 会

※勉強会終了後、会費制（5,000 円程度）の交流会を開催します

【村上早紀子氏 ご略歴】

福島大学経済経営学類准教授。1989 年生まれ。2017 年弘前大学大学院地域社会研究科修了。博士（学術）。2019 年より現職。2017 年日本都市計画学会論文奨励賞受賞、2019 年住総研博士論文賞受賞。主な共著に『初めて学ぶ都市計画（第三版）』『都市を学ぶ人のためのキーワード事典』など。

【谷内久美子氏 ご略歴】

公益財団法人公害地域再生センター研究員。大阪大学博士後期課程修了、博士（工学）。博士論文「ソーシャル・キャピタルの概念を考慮した住民参加型バス交通システムの成立条件に関する研究」。専門は住民参加型まちづくりで、地域社会と環境再生の両面から研究・実践に取り組んでいる。

申込方法：<https://forms.gle/hidNNfSRS7TT2qe87>

もしくは右のQRコード、もしくはメールで9月12日（金）までに
お申し込みください



メールアドレス：eco_mobility[at]ecomomo.or.jp

（実際に送信される際は、[at]を変換していただくとともに、ご所属、お名前、参加方法、
会場参加の方は情報保障*の要否、交流会への参加可否を記載してください）

※会場参加で手話通訳が必要な方は、9月5日（金）までにご連絡ください

<アクセス>



◆飯田橋駅

○JR 中央線・総武線 東口 徒歩約7分

○東京メトロ 南北線・東西線・有楽町線 A1 出口 徒歩約7分

○都営 大江戸線 C2 出口 徒歩約3分

<バリアフリールート>C2 出口は地上までのエレベーターあり。

J R・都営地下鉄水道橋駅方面に直進。



◆水道橋駅

○JR 中央線・総武線 西口 徒歩約4分

<バリアフリールート>東口は地上までのエレベーターあり。

東京ドーム方面の信号を渡り、都営大江戸線飯田橋駅方面に直進。徒歩約7分

○都営 三田線 A2 出口 徒歩約6分

<バリアフリールート>A2 出口は地上までのエレベーターあり。

都営大江戸線飯田橋駅方面に直進。



※オンラインでの参加を希望される方は、開催日までに視聴用URLをメールでお送りしますので、メールアドレスは必ず記載してください

※ご記入いただきました個人情報、当財団の「個人情報保護方針」

(<https://www.ecomo.or.jp/support/privacy.html>)に基づき、適切な管理を行い、本研修会開催にあたってのご連絡を行う場合にのみ使用させていただきます。

問合せ先：公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団 企画調査部（担当：岡本、田中、神野）

TEL：03-5844-6268、E-mail：eco_mobility[at]ecomomo.or.jp

※送信される際は、[at]を変換してください